

大津市立逢坂小学校

令和3年度
エコ・スクール活動報告書

活動テーマ

気付こう 動こう 自分から ～みんなで守ろう 逢坂の自然～

実践事例について

1年生は「自然の素晴らしさ」、2年生は「多種多様な生き物の存在」、3年生は「家庭・学校での環境保全活動」、4年生は「地域の環境保全活動」、5年生は「滋賀県の環境問題」、6年生は「地球の環境問題」をテーマに、全学年で系統的に環境問題に取り組んでいる。また、委員会では、紙のリサイクルの推進や節水の呼びかけ、逢坂水族館の管理・運営、栽培活動として逢坂スマイルレインボーロードに取り組んでいる。

学校紹介

本校は、大津駅の南側に位置する全校児童478名、クラス数21の小学校である。1997年にはビオトープ、2008年には新校舎、2012年には新体育館が完成するなど、設備にも恵まれている。また、本校は、平成16年度から継続的にエコ・スクール事業に参加し、認定を受けている。さらに過去には、「しが環境教育リーディング事業」にも参加し、『生涯にわたって環境保全活動に取り組む子どもの育成』を目指して、協同的な学びや、ESD（持続可能な開発のための教育）の概念を取り入れた研究を、生活科や総合的な学習の時間に進めてきた。さらに近年では、活動の発信としてエコ・スクール発表会（県主催）にも参加したり、公益財団法人三菱UFJ財団の支援を受けてビオトープの整備にも取り組んだりしている。



キックオフ宣言

今年度も校内のエコ・スクール活動をスタートさせるキックオフ宣言に取り組んだ。今年度のテーマは『気付こう 動こう 自分から ～みんなで守ろう、逢坂の自然～』とした。話し合いの中で出てきた「身の回りの自然やエコ活動に気付き、自分から積極的に行動することで、周りの人にもその行動を広げていきたい」という気持ちを込めて、活動テーマを決定した。そして、エコキララ委員会、自然キラキラ委員会の各委員長が、エコ・スクール活動を始める決意として全校放送を行い、今年度の活動がスタートした。

各委員会の取組

◎エコキララ委員会（リサイクル委員会）

今年度から毎月エコ目標を委員会で考え、それを各教室に広めることで、全校挙げてエコ活動に取り組めるよう呼びかけた。また、教室の古紙を集める「リサイクルボックス」を定期的に点検・回収し、気持ちよくリサイクルに取り組める環境づくりに努めた。ペットボトルキャップの回収にも力を入れ、全校に広く呼びかけた。ペットボトルキャップは施設で引き取ってもらい、プランターに換えることで目に見える形でのリサイクルを実施した。



◎自然キラキラ委員会（飼育・栽培委員会）

昨年度から引き続き逢坂水族館の管理・運営に加え、学校夢づくりプロジェクトとしてフラワーロード作りに取り組んだ。1学期にはポスターを作成し、全校にプロジェクトを広めた。また、フラワーロードの名前を募集し、「逢坂スマイルレインボーロード」とした。ロードにはサルビアとマリーゴールドをプランターに寄せ植えし、道の両脇に飾った。「通る度に元気が出る」などの肯定的な意見をたくさん聞き、「もっとたくさんの花を植えたい」と当委員会の子どもたちは気持ちを高めた様子であった。2学期には、各クラスでフラワーバスケットを作成できるよう準備した。飾られたバスケットを見て「花がきれいに咲いてうれしい」と多くの児童が自然への関心を高めることができた。



各学年の取り組み

◎1年生

生活科「きれいにさいてね」

1年を通して、色々な栽培活動に取り組んだ。アサガオの栽培活動では、春に種をまき、生長の様子を何度も観察した。夏には、咲いた花で押し花を作ったり、種を取ったりした。子どもたちはとても楽しそうな様子であった。また、冬には枯れたつるを使ってアサガオリース作りに取り組んだ。「枯れたつるでこんなに素敵なものができるんだ」と新しい発見をした様子であった。



◎2年生

生活科「いきいき キラキラ 生きている」

1年を通して、サツマイモやミニトマト、ダイコンなどの季節の野菜を育てた。また、春にはビオトープ、校庭などを探検し、生き物とふれあう活動を行った。見つけた生き物を実際に飼育することで、生き物への愛着心が強まり、環境を大切にしようとする気持ちが育った。



◎3年生

総合的な学習の時間「身の回りのエコを探ろう～私たちはエコ・スクールキッズ～」

17年連続でエコ・スクールに認定されている逢坂小学校でのエコ活動や家庭でしているエコに関わる取組について調べた。また、分別してゴミを出している様子から3Rについて学び、「ごみの減量」や「海外のエコ」など関心を持ったことから調べ学習を進めた。



分かった事を模造紙にまとめ発表し、自分でできることを考え、一人ひとりキックオフ宣言を行った。

◎4年生

総合的な学習の時間「吾妻川の秘密を探ろう～逢坂エコレンジャー～」

1学期には、地域を流れる川、吾妻川に出かけ、川の水質や川に生息する水生昆虫などについて調べた。2学期には、森林学習を進め、森林が水を貯める役割をしていたり、災害を食い止めたりと森林の大切さと川との関係について学んだ。3学期には、森林と川の結びつきを学んだことで改めて川の大切さについて考え、看板作りなどを通して地域の方や全校に向けて川を大切にしようと呼びかけた。



逢坂小マスコットキャラクター
モリアオ丸くん

◎5年生

総合的な学習の時間「びわ湖環境学習」



琵琶湖での体験活動などを通して、外来種の問題やヨシの減少など、追求したい課題について調べ、分かったことや考えたことを模造紙にまとめて、発表した。

その後、フローティングスクールでの体験を通して、さらに考えを深め、これからの琵琶湖をどのように守っていくか一人ひとりが考えた。水を汚す、外来種を増やす、ゴミを出すなど、どの問題にも人が関わっていることに気づき、責任をもって行動し、自分の生活を見直すことの大切さを学んだ。

◎6年生

総合的な学習の時間「未来のためにわたしたちができること」

様々な環境問題について追及したい課題を見つけ、全校にポスターなどで発信したり、地域の川や駅を清掃する活動に自ら考え取り組んだりした。その後、衣服メーカーの協力を得て、着なくなった服を集めて難民キャンプに送る「服のチカラプロジェクト」に取り組んだ。このプロジェクトでは回収ボックスを作って、全校に呼びかけるとともに、回覧板にチラシを載せたり、商店や施設にチラシを掲示してもらったりすることで地域にも呼びかけた。たくさんの服が集まり、自分たちでできることの大きさを感じることができた。



◎わかば学級

自立活動・生活単元学習「大きく育ててね」

昨年度から引き続き、季節の野菜の栽培活動を行った。キュウリ、ナス、ピーマン、ジャガイモ、サツマイモ、ダイコン等、たくさん収穫し、喜ぶ姿が見られた。小さな一粒の種が大きなダイコンへと育ったことから命のありがたさ、命のつながりについて考え、大切にいただこうと話をした。また、栽培や収穫を通して、自然環境への関心をたかめることができた。



学校名	大津市立逢坂小学校
住所	大津市音羽台6番1号
電話番号	077-522-6753
E-mail	osaka@otsu.ed.jp
URL	http://www.otsu.ed.jp/osaka